

田舎道の幻

田舎道歩く傍ら
横切る小さな黒い影
綺麗に鳴く声が近づき
何の姿かわかる

都会でも道の片隅
声だけは聞こえるけれど
こんな風に現れること
ほとんどないと思う

自分より高い網持って
勇ましく歩く男の子
これは 15 年前なのか
それとも 50 年前

金網の虫籠の扉全開で両手にもち
足元で羽震わすその先で待ち構える
ふとみた幻これは全て儚い夢の中
あそこにいたわが子はもしかしたら
自分なのか

田舎道歩く傍ら
舗装された道がいつしか
土だけの道になったところで
ふと周り見渡す

2本の轍の間に
伸びる草むらの中から
勢いよく飛び移った先
後ろ足たたみ直す

汗と土で汚れたタオル
首に巻き歩く男の子
これは 15 年前なのか
それとも 50 年前

メダカ用の水槽わずかに土を入れて
金網の虫籠からそっと移し替える
ふとみた幻これは全て儚い夢の中
あそこにいたわが子はもしかしたら
自分なのか